

99. ^{かつらぎしゅげん} ^{みち} 葛城修験の道

選定箇所：行者杉（和歌山県橋本市）～蔵王峠（かつらぎ町）～葛城山頂～神通～粉河寺・松峠～土仏峠（紀の川市）～根来寺・押川付近、槌ノ子峠（岩出市）～懺法ヶ嶽～孝子峠～舟着場、友ヶ島（沖ノ島・虎島）（和歌山市）

概要：紀伊・和泉・河内・大和の4か国に跨る葛城山系は、役小角（役行者）の所縁から古代より修験の聖地として尊崇されていた。その役行者が法華経八卷二十八品を埋納したとされる経塚を「葛城二十八宿」とし、行場・拝所・宿所等を設け、また関係寺院を含めて修行の場としている。これらを繋ぐ道は、近世には聖護院、三宝院両門跡をはじめとして多くの修験者が入峯するようになり、今も修業の場として使用されている。

